

<領域：こころとからだのしくみ>

発達と老化の理解

問題 69 A君は、積み木を飛行機に見立ててB君と遊んでいた。大人がA君とB君の目の前で、おやつジュースを一人150mlずつになるように計った。しかし、同じ大きさのコップがなかったため、それぞれ形の違うコップに入れて与えた。A君にジュースを入れたコップを渡したところ、A君は、「B君の方が量が多い」と言って泣き出した。

ピアジェ (Piaget, J.)によるA君の認知発達段階として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 形式的操作期
- 2 感覚運動期
- 3 前操作期
- 4 再接近期
- 5 具体的操作期

問題 70 プロダクティブ・エイジング(productive aging)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 バルテス(Baltes, P.)が最初に提唱した。
- 2 高齢者の経済的自立を目指した概念である。
- 3 エイジズム(ageism)による高齢者のとらえ方を肯定した概念である。
- 4 主観的幸福感とは無関係である。
- 5 プロダクティブ(productive)な活動には、セルフケア(self-care)が含まれる。

問題 71 老年期の精神疾患(mental disease)と精神症状に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 老年期うつ病(senile depression)は、若年者のうつ病(depression)と比べて抑うつ気分が軽い。
- 2 アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)は、脳の器質的変化を伴わない。
- 3 うつ病(depression)等で自殺を試みた高齢者が死に至る率は、若年者の場合と比べて低い。
- 4 せん妄(delirium)は、夜間よりも昼間に生じやすい。
- 5 老年期に発症した統合失調症(schizophrenia)は、妄想型が少ない。

問題 72 死別直後の遺族の心理に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 周囲からのサポートに関係なく、死別後の生活に適応する。
- 2 悲嘆の経験は、心身に影響を及ぼさない。
- 3 悲嘆のプロセスは、多くの人で同じように進む。
- 4 十分に悲しむことが、悲嘆を乗り越えるために有効である。
- 5 遺族への心理的ケアは、緩和ケアに含まれない。

問題 73 脱水時の状態として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 徐脈
- 2 血圧の上昇
- 3 皮膚緊張の増加
- 4 めまい
- 5 体重の増加

問題 74 ^{じょくそう}褥瘡の発生部位として、最も頻度の高いものを1つ選びなさい。

- 1 大転子部
- 2 肩甲骨周辺
- 3 仙骨部
- 4 ^{しょうぶ}踵部
- 5 ^{ちゅうかんせつ}肘関節

問題 75 高齢者の肺炎(pneumonia)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 日本の高齢者(65歳以上)の死因順位(2011年(平成23年))で第1位である。
- 2 インフルエンザ(influenza)に合併することはまれである。
- 3 初発症状は高熱である。
- 4 呼吸数は減少する。
- 5 誤嚥性肺炎(ごえんせいはいえんaspiration pneumonia)の予防には口腔ケアこうくうが有効である。

問題 76 パーキンソン病(Parkinson disease)に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 40歳代で発症することが最も多い。
- 2 突進現象が認められる。
- 3 筋肉の異常が原因である。
- 4 認知症(dementia)を合併することはまれである。
- 5 発症後5年以内に死亡することが多い。

認知症の理解

問題 77 イギリスの心理学者キットウッド(Kitwood, T.)が提唱した、「パーソン・センタード・ケア(person-centred care)」の考え方として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 認知症(dementia)の人の行動・心理症状(B P S D)を無くすこと
- 2 認知症(dementia)の人を特別な存在として保護すること
- 3 認知症(dementia)の人のケアマニュアル(care manual)をつくること
- 4 認知症(dementia)の人の「その人らしさ」を支えること
- 5 認知症(dementia)という病気を治療すること

問題 78 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準「ランクⅢ」の内容として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、
だれ誰かが注意していれば自立できる。
- 2 著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。
- 3 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ。
- 4 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。
- 5 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。

問題 79 認知症(dementia)と比較した場合のせん妄(delirium)の特徴として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ゆるやかに発症する。
- 2 徐々に進行, 悪化していく。
- 3 覚醒水準かくせいすいじゅんの低下を伴うことは少ない。
- 4 幻覚を伴うことは少ない。
- 5 日内変動を認めることが多い。

問題 80 早期発見で改善が可能な認知症(dementia)として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 正常圧水頭症(normal pressure hydrocephalus)
- 2 クロイツフェルト・ヤコブ病(Creutzfeldt-Jakob disease)
- 3 前頭側頭型認知症(frontotemporal dementia)
- 4 血管性認知症(vascular dementia)
- 5 レビー小体型認知症(dementia with Lewy bodies)

問題 81 認知症の行動・心理症状(BPSD)に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 親しい人が分からない。
- 2 言葉を口に出すことができない。
- 3 十分に眠ることができない。
- 4 トイレの水を流すことができない。
- 5 数の計算ができない。

問題 82 認知症(dementia)による実行機能障害に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 いつもと違うことがあると混乱して自然な行動ができない。
- 2 計画を立てて段取りをすることができない。
- 3 交通機関の自動改札機をスムーズに通れない。
- 4 2つ以上のことが重なるとうまく処理できない。
- 5 新しいことや大切なことが覚えられない。

問題 83 前頭側頭型認知症(frontotemporal dementia)の人によく見られる症状に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 社会のルールや常識的な規範が分からなくなる。
- 2 動作が緩慢で動きがぎこちない。
- 3 ちょっとしたことでも泣いたり笑ったりする。
- 4 現実的で具体的な幻視がある。
- 5 料理の手順が分からなくなる。

問題 84 ふりかけをかけたご飯を、「ありがたかっているから食べられない」と訴えるレビー小体型認知症(dementia with Lewy bodies)の人への対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 落ち着いて口に入れてみることを勧める。
- 2 「アリはいません、おなかが空くので食べてください」と促す。
- 3 「お好きなものがありましたよ」と好物を示して食事を勧める。
- 4 通常のご飯に取り替えて、「もう大丈夫でしょうか」と食事を勧める。
- 5 「おなかが空いていないのなら、無理して食べなくてもいいですよ」と下膳^{げぜん}する。

問題 85 認知症サポーターに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 認知症(dementia)の人やその家族を見守り、支援する。
- 2 10万人を目標に養成されている。
- 3 認知症介護実践者等養成事業の一環である。
- 4 認知症ケア専門の介護福祉職である。
- 5 国が実施主体となって養成講座を行っている。

問題 86 Cさん(83歳、女性)は、昨年、夫を亡くしてから一人暮らしをしている。

ここ半年ほど自宅に閉じこもっていることが多く、他者との交流が減っている。一人息子は、他県で家庭を築いている。以前、夫が利用していた通所介護(デイサービス)事業所に、ある日、Cさんから次のような電話が入った。「物忘れが多くなり、心配になって受診したところ軽度認知障害(mild cognitive impairment)だと言われた。認知症(dementia)で判断ができなくなる前に、いろいろ整理しておきたい。夫も先に逝っていることだし、運命を静かに受け入れようと思う」

電話を受けた介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 心配ないから気にしないように励ます。
- 2 他県に住む息子と同居することを勧める。
- 3 成年後見制度を紹介する。
- 4 居宅介護サービスの利用を勧める。
- 5 地域包括支援センターを紹介する。

障害の理解

問題 87 身体障害の種類とその状態の組合わせとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 聴覚障害 —— えんげしょうがい 嚥下障害
- 2 肢体不自由 —— 構音障害
- 3 平衡機能障害 —— 意識障害
- 4 内部障害 —— 呼吸器機能障害
- 5 視覚障害 —— 半側空間無視

問題 88 ノーマライゼーション(normalization)の理念に通じる制度や事業に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「バリアフリー新法」の制定
- 2 救急医療体制の整備
- 3 国民皆年金の実現
- 4 大規模な障害者入所施設の整備
- 5 「育児・介護休業法」の制定

(注) 1 「バリアフリー新法」とは、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」のことである。

2 「育児・介護休業法」とは、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」のことである。

問題 89 統合失調症(schizophrenia)の陰性症状に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 感情の動きが乏しくなる。
- 2 誰かに支配されているような感覚を抱く。
- 3 あるはずのない声が聞こえる。
- 4 危険な状態にあると思ひ込み、強い不安や敵意を抱く。
- 5 話の内容が次々に変わり、まとまりがない。

問題 90 高次脳機能障害(higher brain dysfunction)の原因疾患として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ダウン症候群(Down's syndrome)
- 2 アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)
- 3 自閉症スペクトラム障害(autism spectrum disorder)
- 4 統合失調症(schizophrenia)
- 5 脳炎(encephalitis)

問題 91 知的障害者に対する支援方法として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 本人のいないところで、本人のことを決める。
- 2 子どもに接するようにかかわる。
- 3 失敗経験をさせないように先回りをする。
- 4 何かを伝えるときには、言葉だけでなく身振りや絵などを使う。
- 5 社会的マナーに違反したときには、時間がたってから注意する。

問題 92 関節リウマチ(rheumatoid arthritis)の人の関節保護の方法として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 コップは片手で持つ。
- 2 荷物は指先で持つ。
- 3 ドアの取っ手は丸いものを使う。
- 4 便器に補高便座をのせる。
- 5 就寝時には高い枕まくらを使う。

問題 93 適応機制の1つである「昇華」に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 認めたくない欲求を心の中に抑え込んでしまおうとする。
- 2 名声や権威に自分を近づけることで、自分の価値を高めようとする。
- 3 自分に都合の良い理由をつけて、自分を正当化しようとする。
- 4 発達の未熟な段階に後戻りして自分を守ろうとする。
- 5 直ちに実現できない欲求を、価値ある行為に置き換えようとする。

問題 94 上肢リンパ浮腫ふしゅのある人が日常生活で心がけることとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 手袋をしないで庭の手入れをする。
- 2 体重の増加を防ぐ。
- 3 患側で血圧を測定する。
- 4 サウナ浴を行う。
- 5 きつめの肌着を着る。

問題 95 Dさん(38歳, 女性)は, 知的障害があり, 障害者支援施設で生活介護を受けながら生活している。ADL (Activities of Daily Living: 日常生活動作)は自立しているが, 家事や金銭管理に援助が必要な状況である。家族から経済的・精神的支援は期待できない。

ある日, Dさんから, 「仕事はできないけれど, ここから出て暮らしてみたい」という希望があり, 検討することになった。

Dさんの地域生活を実現するための支援として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 指定一般相談支援事業者の利用を勧める。
- 2 発達障害者支援センターに支援計画の作成を依頼する。
- 3 行動援護の支給申請を行う。
- 4 就労移行支援の利用を勧める。
- 5 地域包括支援センターに支援を要請する。

問題 96 Eさん(35歳, 女性)は, 出産時に脳出血(cerebral hemorrhage)を起こした。現在は, 片麻痺かたまひで車いすを利用し, 高次脳機能障害(higher brain dysfunction)による注意障害を持ちながら, 乳児を育てている。このようなEさんに対して, 多職種による支援が行われることになった。

Eさんにかかわる専門職とその支援の内容として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 社会福祉主事が家事援助サービスを提供する。
- 2 保健師が子育て相談を行う。
- 3 身体障害者福祉司が治療体操を行う。
- 4 知的障害者福祉司が精神障害者保健福祉手帳の申請を行う。
- 5 介護支援専門員(ケアマネジャー)がサービス等利用計画を作成する。

こころとからだのしくみ

問題 97 記憶に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 短期記憶では、膨大な情報の貯蔵が可能である。
- 2 記憶には、記銘と保持と想起の3つの過程がある。
- 3 手続き記憶とは、自分に起こった出来事に関する記憶である。
- 4 エピソード記憶とは、一般的な知識についての記憶である。
- 5 記憶の処理は、中脳で行われる。

問題 98 関節運動とその主動作筋(主として働く筋肉)の組合わせとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 肩関節外転 —— 上腕二頭筋
- 2 手関節屈曲 —— 上腕三頭筋
- 3 こかんせつくつきよく 股関節屈曲 —— 腸腰筋
- 4 こかんせつしんてん 股関節伸展 —— 腹直筋
- 5 かたいさんとうきん 足関節伸展 —— 下腿三頭筋

問題 99 糖尿病(diabetes mellitus)のある人の身支度の介護で、異変の有無について特に観察すべき部位として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 毛髪
- 2 耳介
- 3 鼻腔
びくう
- 4 手指
- 5 足趾(指)
そくし

問題 100 廃用症候群(disuse syndrome)として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 筋肥大
- 2 高血圧
- 3 頻脈
- 4 褥瘡
じょくそう
- 5 躁病 (mania)
そうびょう

問題 101 誤嚥^{ごえん}を防止している部位として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 甲状軟骨
- 2 口蓋垂
こうがいすい
- 3 喉頭蓋
こうとうがい
- 4 口蓋扁桃
こうがいへんとう
- 5 食道

問題 102 食事のたんぱく質制限が必要な疾患として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 胃潰瘍いかいよう(gastric ulcer)
- 2 尿毒症(uremia)
- 3 痛風(gout)
- 4 脂質異常症(dyslipidemia)
- 5 狭心症(angina pectoris)

問題 103 入浴による静水圧の直接的な作用として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 毛細血管の拡張
- 2 関節への負担の軽減
- 3 下肢のむくみの軽減
- 4 体重による負担の軽減
- 5 老廃物はいせつの排泄の促進

問題 104 弛緩性便秘しかんせいべんぴの原因として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 大腸ぜんどううんどうの蠕動運動の低下
- 2 過敏性腸症候群(irritable bowel syndrome)
- 3 自律神経の失調
- 4 排便反射の低下
- 5 大腸がん(colorectal cancer)

問題 105 多尿の原因として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 脱水
- 2 副交感神経優位
- 3 前立腺肥大症(prostatic hypertrophy)
ぜんりつせんひだいしょう
- 4 ビタミンC (vitamin C)の過剰摂取
- 5 糖尿病 (diabetes mellitus)

問題 106 睡眠に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ヒトは下垂体に体内時計がある。
- 2 抗ヒスタミン薬は覚醒作用かくせいさようがある。
- 3 睡眠は深さよりも長さが重要となる。
- 4 レム睡眠は30分ごとに繰り返し出現する。
- 5 最も深い眠りの段階はノンレム睡眠である。

問題 107 睡眠障害に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 入眠障害とは、眠りが浅く途中で何度も目が覚めることである。
- 2 レストレスレッグス症候群 (restless legs syndrome)は、早朝覚醒そうちょうかくせいの原因となる。
- 3 睡眠が不足すると、副交感神経が活発になる。
- 4 肥満は、睡眠時無呼吸症候群 (sleep apnea syndrome)の原因となる。
- 5 周期性四肢運動障害は、睡眠中に大声の寝言や激しい動作を伴う。

問題 108 Fさん(72歳, 男性)は数か月前から食欲不振があり, 体重も減少した。

市内の総合病院を受診したところ, 末期の胃がん(gastric cancer)と診断され, 緩和医療を受けることを勧められた。

Fさんの今の心情を, キューブラー・ロス(Kübler-Ross, E.)の提唱した心理過程の第1段階に当てはめた表現として, 適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「病気を治すためなら, 財産を全部使ってもいい」
- 2 「なぜ私だけが病気になって, 死ななければならないのか」
- 3 「診断は何かの間違いで, とても信じられない」
- 4 「死は誰にでも訪れる自然なことだから, 受け入れよう」
- 5 「末期がんなら, 何をしてもどうせ無駄だ」

<総合問題>

総合問題

(総合問題 1)

次の事例を読んで、問題 109 から問題 111 までについて答えなさい。

[事 例]

Gさん(75歳、男性)は、妻と穏やかに暮らしていた。ドライブが趣味で、妻が買い物に行くときは送り迎えをした。妻の買い物がない日には、いつも近くのUコミュニティセンターで、仲間たちと囲碁や将棋をしていた。

そんなGさんが、半年前からUコミュニティセンターに行かない日が多くなり、家の中をうろうろしたり、妻に買い物に行く時間を何度も確認し、車の鍵を探しまわることが多くなった。2か月ほど前、買い物の後で家に帰る道が分からなくなり、同じ道を行ったり来たりしているのを、妻が、「次の路地に入ってください」と言うと、「分かつとる」と大声を出した。家に到着すると、「今年は免許更新の年だ」と言った。心配した妻が、かかりつけのH医師にGさんの診察を依頼した。アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)と診断され、その後、要介護1と認定された。現在、訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用し、妻は訪問介護員(ホームヘルパー)がいる間に買い物に出かけている。

問題 109 妻は、Gさんのことが心配でなかなか自宅を空けることができない。

妻が自宅から気軽に相談できる機関として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 高齢者生活福祉センター
- 2 地域活動支援センター
- 3 市町村保健センター
- 4 認知症コールセンター
- 5 認知症介護研究・研修センター

問題 110 妻は交通事故を心配して、1日も早く車の運転をやめさせたいと考えている。

現在のGさんの状況について、訪問介護員(ホームヘルパー)の妻に対する助言として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 車の鍵^{かぎ}を隠すことを勧める。
- 2 Gさんに断りなく車を処分することを勧める。
- 3 「免許更新期間は過ぎました」とGさんに言うように勧める。
- 4 近くの警察署に相談することを勧める。
- 5 「あなたの運転は怖いから乗りません」とGさんに言うように勧める。

問題 111 妻はGさんと、自宅でできるだけ長く生活したいと考えている。また、自分が旅行などで一定期間家を空けることができるのかと心配している。

妻の心配に対応する介護保険のサービスとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 短期入所療養介護
- 2 通所リハビリテーション
- 3 通所介護(デイサービス)
- 4 認知症対応型通所介護
- 5 訪問看護

(総合問題 2)

次の事例を読んで、問題 112 から問題 114 までについて答えなさい。

[事 例]

Jさん(80歳、女性)は3年前にレビー小体型認知症(dementia with Lewy bodies)と診断され、要介護3と認定された。次第に徘徊^{はいかい}することが多くなって、夫(88歳)が介護することは難しくなり、現在は認知症対応型共同生活介護(グループホーム)を利用している。

Jさんは、「先生が怖い顔をしてあっちから歩いてくる」など、実際にはないことを口にしていた。Jさんはグループホームから出て行き、Vコンビニエンスストアで発見されたことが1回ある。

家族の了解を得て、GPS追跡機をJさんの身に付けてもらうことにした。また、地域のネットワークを活用して、Jさんが発見されたVコンビニエンスストアの店員、地域の民生委員、自治会、老人クラブなどに呼びかけ、一人で歩いているJさんを見かけたときは、グループホームに連絡を入れてもらうようにした。一方で、介護福祉職は、Jさんが外出したいときには、付き添って外出していた。

問題 112 Jさんに見られる症状として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 感情失禁
- 2 奇異行動
- 3 無動
- 4 無言
- 5 幻視

問題 113 地域の住民から、「Jさんに似た人をW橋のそばで見かけました」と連絡が入った。W橋はVコンビニエンスストアから2kmほど離れている。JさんのGPS追跡機が居室で見つかったが、Jさんの姿はグループホーム内に見当たらなかった。

この時点で、介護福祉職がとるべき対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 グループホームで帰ってくるのを待つ。
- 2 休暇中の職員全員に出勤してもらう。
- 3 地域のネットワークに協力を依頼する。
- 4 Jさん宅に探しに行く。
- 5 VコンビニエンスストアでJさんが来るのを待つ。

問題 114 JさんはW橋近くで無事に発見された。グループホームの職員は今後のJさんへの対応について話し合いを行った。

介護福祉職のJさんへの対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Jさんの居室に鍵をかけ、居室の中で過ごしてもらう。
- 2 無断外出がたくさんの人に迷惑がかかることを伝え、反省を促す。
- 3 Jさんの1日の生活リズムを再確認する。
- 4 グループホームの利用をやめるように勧める。
- 5 今後、出かけるときは、職員に声をかけるように伝える。

(総合問題 3)

次の事例を読んで、問題 115 から問題 117 までについて答えなさい。

〔事例〕

Kさん(46歳, 男性)は, 1年前, 事故が原因で全盲となった。失明当初は, 自宅にひきこもってしまい, 妻と離婚し, 仕事も辞めてしまった。

その後, なんとか元の自分の生活を取り戻したいと思って, 総合リハビリテーションセンターを利用し始めたが, 初めは, 受傷による心理的な影響が大きく, 積極的に訓練に参加することができなかった。

問題 115 センターの介護福祉職のKさんへの対応として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 他の視覚障害者も頑張っていることを伝える。
- 2 1日でも早く一人で歩くことができるように励ます。
- 3 センター内の視覚障害者の集いへの参加を勧める。
- 4 障害者スポーツへの参加を勧める。
- 5 経済的な支援やサービスに関する制度について説明する。

問題 116 Kさんとのコミュニケーションを図るためのセンターの介護福祉職の対応として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 話したり, 手で触れたりしてコミュニケーションを図る。
- 2 読話を用いてコミュニケーションを図る。
- 3 点字を用いてコミュニケーションを図る。
- 4 Kさんの話をうなずきながら聞く。
- 5 「あれ」, 「これ」という指示代名詞を用いてコミュニケーションを図る。

問題 117 センターの介護福祉職のアドバイスなどもあり、Kさんは徐々に歩行訓練、日常生活動作訓練、点字訓練、音声ソフトを導入したパソコンの訓練等を行うことができるようになった。

また、Kさんは、比較的早く、盲導犬と生活する訓練を受け、現在、盲導犬と一緒に自宅で生活することが可能になった。Kさんがいつも相談に行っている地域活動支援センターの職員から盲導犬とその利用者への接し方について一般の人に話してほしいと依頼された。

Kさんが話す内容として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 盲導犬がそばにいれば困ることはないので、視覚障害者に話しかけないでほしい。
- 2 仕事中の盲導犬に声をかけて励ましてほしい。
- 3 仕事中の盲導犬に水や食べ物を与えてほしい。
- 4 盲導犬が通路をふさぐなどの困った行動をしても、黙って見ていてほしい。
- 5 盲導犬がハーネス(harness)をつけているときは、仕事なので見守ってほしい。

(総合問題 4)

次の事例を読んで、問題 118 から問題 120 までについて答えなさい。

[事例]

Lさん(45歳、男性)は30歳の頃、統合失調症(schizophrenia)と診断された。両親と弟がいるが、関係が悪く、現在は両親の家の近くにアパートの一室を借りて住んでいる。

精神状態が悪くなると、誰かが襲ってくると思ひ込み、部屋から一歩も出ることができなくなる。その結果、部屋の中はゴミがいっぱいで、Lさんが寝る場所以外はゴミで埋められていた。

心配した母親は相談支援専門員に状況を話した。相談支援専門員が、Lさんに障害支援区分の認定を受けてもらったところ、区分3と判定された。A訪問介護員が派遣されることになった。

LさんはA訪問介護員が部屋に入ることは受け入れたが、家事の支援は受け入れなかった。A訪問介護員は粘り強くLさんの話を聞き、「Lさんのいる場所と私がいる場所ぐらいは作りたい」と伝えた。その結果、Lさんと一緒にゴミを少し片づけることができた。A訪問介護員は、Lさんの定期的な通院にも付き添うことができるようになった。Lさんは服薬もしっかりとするようになってきた。

問題 118 精神状態が悪くなったときのLさんの症状として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 幻覚
- 2 妄想
- 3 せん妄(delirium)
- 4 思考途絶
- 5 感情鈍麻

問題 119 Lさんは移動のときに見守りが必要である。

Lさんの定期的な通院に付き添うことが可能となるサービスとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 居宅介護
- 2 同行援護
- 3 生活介護
- 4 自立訓練
- 5 療養介護

問題 120 LさんとA訪問介護員との信頼関係ができ、部屋の中もきれいに片づいた。

Lさんはこの後の生活についての漠然とした不安をA訪問介護員に相談するようになった。Lさんを交えた支援会議の前に、担当の相談支援専門員とサービス提供責任者、A訪問介護員が会議を開いた。

A訪問介護員が提案する内容として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 両親と話し合い、一緒に住むこと
- 2 仕事を見つけるために、公共職業安定所(ハローワーク)に行くこと
- 3 地域活動支援センターの利用
- 4 共同生活援助(グループホーム)の利用
- 5 継続的な服薬管理のための短期間の入院